

## 墨岡 学 教授 略歴

### 1 本人

本籍地 山口県周防大島郡大字小松開作  
昭和24年9月 愛媛県温泉郡河野村生まれ

### 2 学歴・職歴

昭和49年3月 広島大学大学院理学研究科素粒子論専攻修了  
昭和49年4月 日本ユニバック株式会社入社  
昭和54年3月 ヴァ ソフトウェア開発部言語プロセッサグループ退職  
昭和54年4月 松山商科大学経営学部講師  
昭和59年4月 松山商科大学経営学部助教授  
平成3年4月 松山大学経営学部教授  
平成27年3月 松山大学を定年により退職  
平成27年4月 松山大学名誉教授

### 3 役職等履歴

言語・情報センター長，情報教育センター長としてインターネットによる海外との文化交流基盤の導入・整備に努めた。

#### 言語・情報センター長

1. 平成9年10月1日～平成12年9月30日
2. 平成12年10月1日～平成15年9月30日

**情報教育センター長**

1. 平成16年4月1日～平成19年3月31日
2. 平成19年4月1日～平成19年6月30日

**評議員**

1. 平成18年12月1日～平成22年11月30日（教育職員評議員）
2. 平成22年12月1日～平成26年11月30日（教育職員評議員，平成23年1月5日付で辞任届）
3. 平成23年1月6日～平成26年11月30日（副学長評議員）

**理事**

1. 平成19年1月1日～平成22年11月30日（評議員選出理事）
2. 平成23年1月7日～平成24年12月31日（副学長年長者）

**内部監査室長**

1. 平成22年4月1日～平成24年12月31日

**副学長**

1. 平成23年1月7日～平成24年12月31日

**常務理事**

1. 平成23年1月14日～平成24年12月31日

**4 社会における活動**

1. 愛媛朝日テレビ番組審議会委員長
2. 子規チーム会長

## 5 所属学会ならびに所属研究会

1. 情報処理学会
2. 人文科学とコンピュータ研究会
3. SDF Public Access UNIX System

## 6 研究業績

西洋から中東を経由し、アジアの東端に位置する日本まで詩的な精神的運動としてのポエジーには通奏して歌う心の動きに共通するものがある。西洋に日本の近代俳句創始者正岡子規を最初に伝えたのは R. H. Blyth の 1949 年に出版された『俳句 HAIKU Eastern Culture』であるといわれている。幸運にも私は、米国ワシントン州で開催された「北米俳句会議 2005」で Blyth の娘さんと会うことができた。高齢にもかかわらずカナダとの国境に近いフォートワーデン国立公園まで来た彼女は我々シキチームと話し合うことができたことを喜んでくれた。そこで我々は、Blyth 自身が英国からインドを経由して日本に渡ってくる過程のなかで、東洋思想として仏教から Zen そして HAIKU へとつながる道を研究しそれを西洋に伝えたことを再確認することができた。

我々が Shiki Team の名前で松山大学からインターネットにより俳句の精神を伝えることができたのは、元学長八木亀太郎のペルシャ語研究を通じた西洋と東洋の精神の出会いについての研究、さらにはハワイ大学から出版された英語俳句についての著書などの先駆的な運動のおかげであったといえる。メキシコのノーベル賞詩人オクタビオ・パスは「ポエジーは認識、救済、力、放棄である。世界を変えうる作用としての詩的行為は、本質的に革命的なものであり、また、精神的運動なるがゆえに内的解放の一方法でもある」と詩論『弓と豎琴』の冒頭で語っている。パスのポエジーの神髄にはとても及ぶべくもないが、我々はインターネットを利用することにより、松山からこの八木亀太郎の

思想を原点として、HAIKUを世界へと拡げつづけている。

なお、‘Haikusphere’という単語は、我々がnoosphereに触発されてつくった造語である。もともとnoosphereはギリシア語のノオス(nous ‘mind’)と球sphairaの合成語であったが、Raymond Ericによるインターネットのオープンソース運動で知られるようになってからは、広く‘the sphere of human thought’を意味するようになった。Haikusphereは、‘the sphere of haiku poems’の意味である。

## 6.1 著書

- 墨岡学, 和田武, David Burleigh 『正岡子規全俳句データベースの構築』  
松山大学言語・情報センター叢書第8巻, 松山大学総合研究所, ISSN  
1348-5067, 2014. (2461頁)

### 目次

1. 序文
2. The Shiki Internet Haiku Salon
3. 俳句システムについて
4. 俳句システムの設計思想と実装
5. 構造化された文書の視点からみた俳句の要件
6. 著作権
7. 俳句の起源
8. 数学と俳句
9. Shiki Haikusphere
10. 子規俳句
11. SHF-Shiki Haikusphere ‘F’
12. 愛媛における学術情報ネットワークの黎明期
13. 愛媛大学とインターネット
14. 編集後記

- シキチーム編集「Shiki HAIKUSPHERE」Okada Printings Co., Ltd, ISBN 978-4-9903520-0-4, 2007.

## Contents

**Preface** Manabu Sumioka

**Haiku 10 BY 10** Haijins

- Roberta Beary
- Yu Chang
- Earl Keener
- Dhugal Lindsay
- Paul David Mena
- Paul Miller
- A. C. Missias
- Jane Reichhold
- Timothy Russel
- Michael Dylan Welch

**Essays and Report**

**Biographical Notes**

- 墨岡学, Jane Reichhold 他『俳句の「場」としてのインターネット－ハイクの一統場理論を目指して』松山大学言語・情報センター叢書第2巻, 松山大学総合研究所, ISSN 1348-5067, 2003. (235 頁)

世界初の短詩型文学の交流サイト The Shiki Internet Haiku Salon を中心として開設したメーリングリスト及び国際 Haiku コンテストを我々シキチームの手で開催しコンテスト優勝者を松山に招待し彼らと Haiku について議論した内容を総括した。

## 6.2 学術論文

主として「人文科学とコンピュータ研究会<sup>1)</sup>」で研究報告と論文を発表した。

- 墨岡学, 他『英語俳句データベース構築の試み (An approach to constructing Haiku relational database by the Shiki team)』, 情報処理学会研究報告人文科学とコンピュータ, 2004 巻, 78 号, ページ 37-39.
- 墨岡学, 他『E-zine 発行者が見た英語俳句の形式議論 (A Discussion on the break/caesura and format of Haiku in the Shiki and Nobo lists reviewed by the Shiki team)』, 情報処理学会研究報告人文科学とコンピュータ, 2004 巻, 58 号, ページ 21-28.

情報処理学会電子図書館 <https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/>公開論文

## 6.3 学術講演

主として「情報処理学会<sup>2)</sup>」で行った。

- 「Development of a Mobile Application for Accessing and Using the Shiki Haiku Mailing List and Archives Based on Citizen Initiative」情報処理学会第 77 回全国大会, 京都大学, 2015 年 3 月 (発表予定, 2014 年 11 月 21 日受理済)
- 「英語俳句シキ・メーリングリスト (1994-2013) と大学情報センター・海外俳人・地方自治体の相互関連」情報処理学会第 76 回全国大会, 東京電機大学, 2014 年 3 月
- 「英語俳句サイト Shiki の奇跡 - Shiki Team 年代記」情報処理学会第 72 回全国大会, 東京大学, 2010 年 3 月

---

1) <http://www.jinmoncom.jp>

2) 情報処理学会 <http://www.ipsj.or.jp>

## 一般講演

- 「Witryna internetowa haiku po anglelsku “Shiki” (英語俳句サイト Shiki)」  
グダニスク市俳人協会主催<sup>3)</sup> ポーランドグダニスク市立図書館, 2012年  
9月.
- 「Shiki Haikusphere and the Shiki team」 Haiku North America 2005 (北米俳  
句会議主催), 米国ワシントン州ポートタウンゼンオリンピック半島フォ  
ートワーデン国立公園, 2005年9月.
- 「The Future of the Shiki Haiku Salon」 World Haiku Festival 2000 (The World  
Haiku Club 主催), 英国オックスフォード大学ヘディントンヒルキャンパ  
ス, 2000年8月.

以上

---

3) <http://www.wbpg.org.pl/index.php5?m=branch&bid=22&id=3737>